

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
1	99	中左	●ピーカーとガラスぼうが ぶつかってわれないように、 ゆっくりかき<u>ま</u>ぜる。 	●ピーカーとガラスぼうが ぶつかってわれないように、 ゆっくりかき<u>混</u>ぜる。 
2	113	中左	わたしたちの塩工場では、まず、塩田^{えんてん}というところ に海水を流し、日光の熱と<u>あたたかい風で海水から水を</u> <u>じょう発させて、こい塩水をつくりま</u> <u>す。次に、大きなかまで時間をかけてにつめ、塩</u> <u>のつぶをとり出します。</u> 	わたしたちの塩工場では、まず、塩田^{えんてん}というところ に海水を流し、日光の熱と<u>風で海水から水を</u> <u>じょう発させて、こい塩水をつくりま</u> <u>す。次に、大きなかまで時間をかけてにつめ、塩のつぶをと</u> <u>り出します。</u> 
3	151	全体	別紙の別紙 1 参照。	別紙の別紙 2 参照。
4	151	全体	別紙の別紙 1 参照。	別紙の別紙 2 参照。



東京スカイツリーのふりこ

はってん

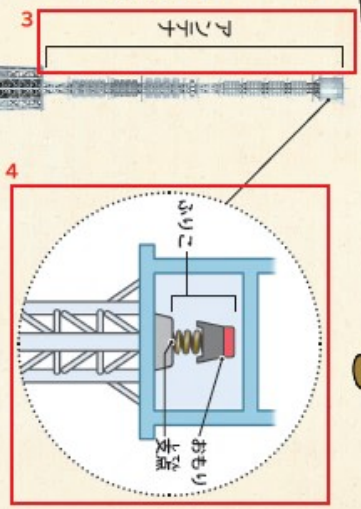
高さ634mの東京スカイツリーが一番上には、大きなアンテナがとりつけられています。アンテナの高さは140m。それだけで高そうビルと同じぐらいの高さがあります。

アンテナがある地上500m以上のところでは、とても強い風がふきます。この強い風によるアンテナのゆれをおさえるために、ふりこを使ったそうちがとりつけられています。

そうちがあるのは、アンテナの一番上の部分です。強い風がふいてアンテナがゆれたときに、そのふりこはすぐには動かず、少しおくれで動き出します。アンテナ本体のゆれとふりこのゆれのタイミングがずれることで、全体のゆれを小さくすることができます。



アンテナの一番上にそうちをとっているようす

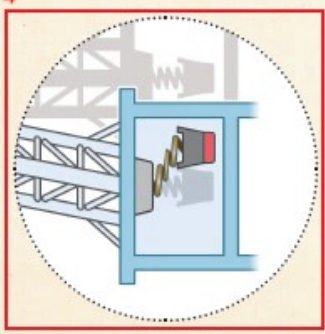


ゆれていないときの
そうちのようす

逆さまのふりこが
とりつけられている。
バネでふりこを
戻している。



東京スカイツリーに
とりつけられている
ふりこを使ったそうち



風でゆれたときの
ようす

本体のゆれと
ふりこのゆれの
タイミングがずれる。

こんなところにも！ 理科の世界 たんけん部



東京スカイツリーの ふりこ

はってん

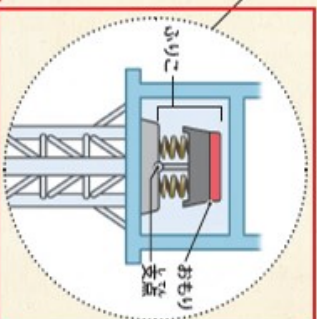
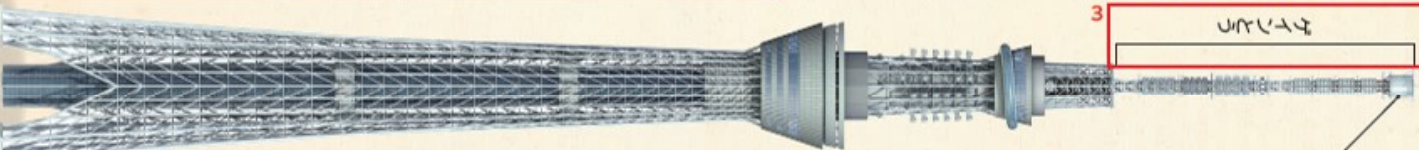
高さ634mの東京スカイツリーの上の部分をゲインとうといい、アンテナがとりつけられています。ゲインとうの高さは140m。それだけで高そうビルと同じぐらいの高さがあります。

ゲインとうがある地上500m以上のところでは、とても強い風がふきます。この強い風によるゆれをおさえるために、ふりこを使ったそうちがとりつけられています。

そうちがあるのは、東京スカイツリーの一番上の部分です。強い風がふいて東京スカイツリーがゆれたときに、そのふりこはすぐには動かず、少しおくれで動き出します。ゆれのタイミングがずれることで、全体のゆれを小さくすることが出来ます。



東京スカイツリーの
一番上にそうちを
とりつけている
ようす

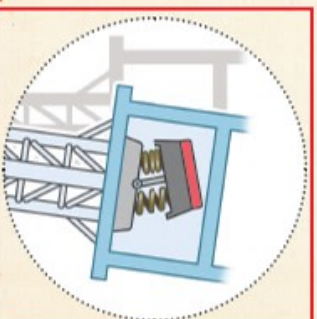


ゆれていないときの
そうちのようす

逆さまのふりこが
とりつけられている。
バネでふりこを
支えている。



東京スカイツリーに
とりつけられている
ふりこを使ったそうち



風でゆれたときの
ようす

本体のゆれと
ふりこのゆれの
タイミングがずれる。